

輸出事業計画

※申請者名：株式会社丸徳水産、品目：オーガニックはまち

1. 輸出における現状と課題

◆現状

過去の輸出実績は、カナダとオーストラリアの2か国だったが、コロナ禍で完全にストップしていた。そのような中、既に連携関係にある国内の回転寿司大手企業より、米国をはじめとする海外の店舗で提供する寿司ネタに、日本の良質で付加価値の高い水産物の安定供給を求められた。

◆課題

寿司ネタ用の水産物については、店舗での負担軽減のためにフィレ等に加工しているが、はま치의輸出に際して、当該企業の海外現地法人からは、対米HACCPの取得を求められている。現在の施設では、国内既存顧客向けで最大近くの稼働となっており、輸出向けに追加加工する施設の増強と対米HACCPの認証取得が課題となっている。

なお、現時点では当該企業の海外現地法人以外は販路を持っていないことも課題である。



2. 輸出事業計画の取組内容

◆取り組み内容

欧米や台湾におけるオーガニック食品への関心の高さを背景に、輸出品目は日本初の有機水産物で国際的基準に準拠した「オーガニックはまち」となった。オーガニックの養殖・加工において当該企業と取引実績があり、連携体制は構築できている。

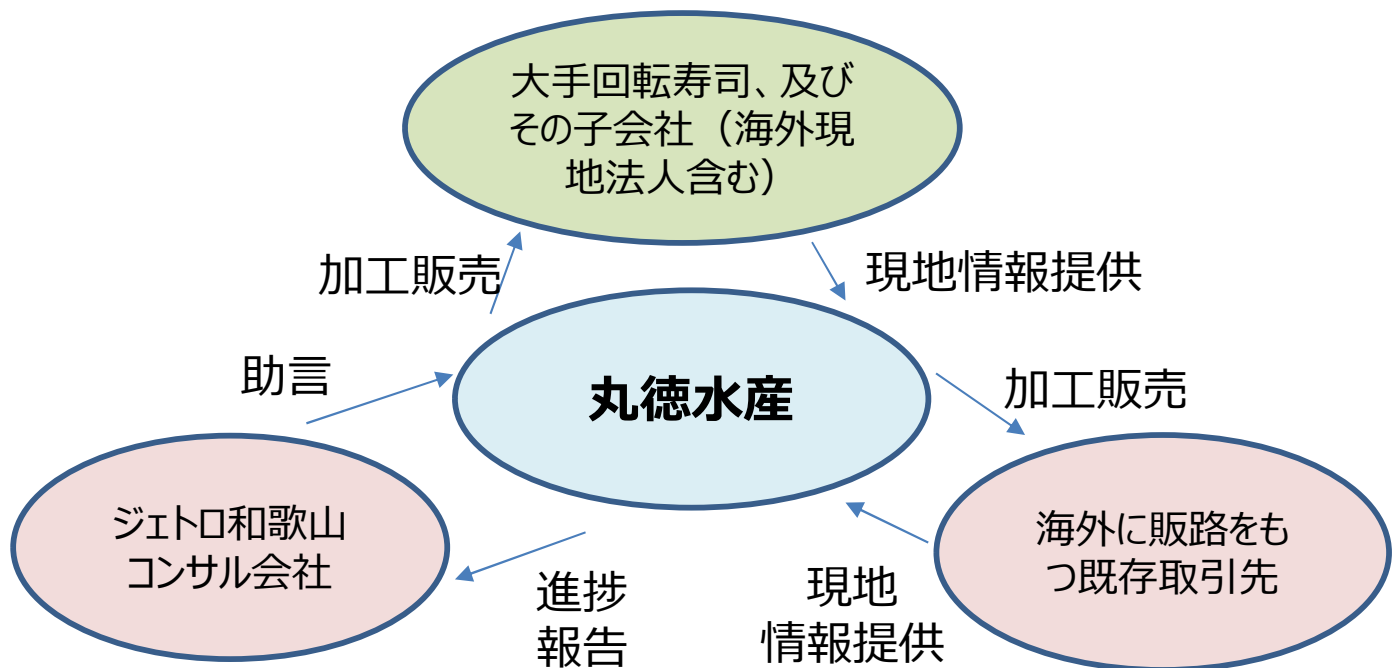
専門家よりアドバイスを受けながら、加工施設を新設し、導入した機器を用いて品質管理基準を維持する。既存施設で各認証を取得しているため、オーガニック認証、HACCP認証に基づく衛生管理等とも、スムーズに運用できる体制にある。また、取引先の衛生基準をクリアするとともに課題解決にも大きく貢献する。

販売面では、既存取引先数社が販路を海外に持っているが、国内の量販店向けに製品の出荷を行ってきたことから、商談は進みやすい良好な関係にある。今後、展示会や商談に同行し、衛生管理レベルの高さを訴求しながら、ターゲット国である米国、台湾、香港をはじめ、将来的には中国や東南アジアの富裕層向けレストラン等への販路開拓も検討していく。

輸出事業計画

※申請者名：株式会社丸徳水産、品目：オーガニックはまち

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

- ◆輸出品目：オーガニックはまち
- ◆輸出先国：米国、台湾、香港、他
- ◆輸出目標額：（現状）令和 4 年度 実績なし
（目標）令和 10 年度 輸出額 1 億円